

都市の湿地は都市を住みやすくする



湿地に関するラムサール条約

世界湿地の日2018 2018年2月2日



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future



World Wetlands Day
is made possible by the
Danone Fund for Water.





World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



世界湿地の日2018に - 参加しましょう！

世界湿地の日は、1971年イランにおけるラムサール条約の採択を記念して、毎年2月2日前後に祝います。2018年のテーマは、**持続可能な都市の未来のための湿地**であり、都市を住みやすいものにするための都市にある湿地の重要な役割を強調しています。

あなたが参加できる方法：

- 都市の湿地の重要性を他の人に教えるためのイベントを開催します。
- そのイベントをwww.worldwetlandsday.orgに登録、アップロードします。
- 湿地に関する一般市民の意識を高めるために、ソーシャルメディアと情報資料を共有します。



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



湿地に関するラムサール条約とは： 湿地の喪失と劣化を解消するための作業をしています。

- 最初にできた、一つだけのエコシステムである湿地にこだわった地球環境条約です。
 - 1971年にイランのラムサールで採択されました。
- 締約国は、保護された湿地ラムサール条約湿地を登録指定し、湿地の賢明な使用、国境を越えた問題への協力を約束します。
- 締約国の数は169ヶ国です。
- ラムサール条約湿地の数は2,284ヶ所です。
- ラムサール条約湿地の総表面積は220,673,362ヘクタール(メキシコよりわずかに大きい)です。



スイス、グランで開催された第53回常設委員会会合
Photo: Ramsar Convention

www.ramsar.org/sites-countries/the-ramsar-sites



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



湿地に関するラムサール条約： 持続可能な開発へのかかわり

- ラムサール条約第4次戦略計画は16の異なるSDGsに貢献しています。それらは多くの都市開発に関連しています：
- 目標6：すべての人が水と衛生を確保する
- 目標9：弾力性のある(resilient)インフラストラクチャを構築する
- 目標11：包括的な、安全な、弾力的な、持続可能な都市づくり
- 目標12：持続可能な消費と生産パターンを確保する
- 目標13：気候変動と戦う
- 目標15：陸生生態系を保護し、再生し、持続可能な利用を促進する



マングローブ植栽、Balanga City湿地公園、フィリピン

Photo: Ramsar Convention



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



湿地に関するラムサール条約 湿地都市認定計画

都市のための自主認定スキーム(計画・しくみ)

- 都市化の進展による都市および周辺都市湿地の消失(Stem loss)
- 2015年の締約国会議で採択された決議XII.10
- 都市の湿地を保全し、復元し、賢明に使用するように都市に慎重な行動を促します。
- 2018年に湿地都市として認定される認定証を受け取る最初の適格な都市があります。



湿地都市認定の受賞者は、ドバイで開催される2018年ラムサール条約締約国会議で発表されます。

Photo: ramsar.org



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



湿地と都市： 長い共生関係

- 最古の都市は肥沃なティグリス&ユーフラテス氾濫原にできました。
 - 農業、給水、輸送のメリットがあります。
- 湿地：永続的または季節的に氾濫する区域です。
- 湿地の種類は次のとおりです。
 - 河川・氾濫原、湿地、泥炭地
 - マングローブ、塩沼、河口、サンゴ礁
- 都市と都市周辺の湿地：
 - 都市、その郊外および外の地域の中または周辺で見つかる湿地です。



香港九龍の湿地

Photo: urbanwetlands.org



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable

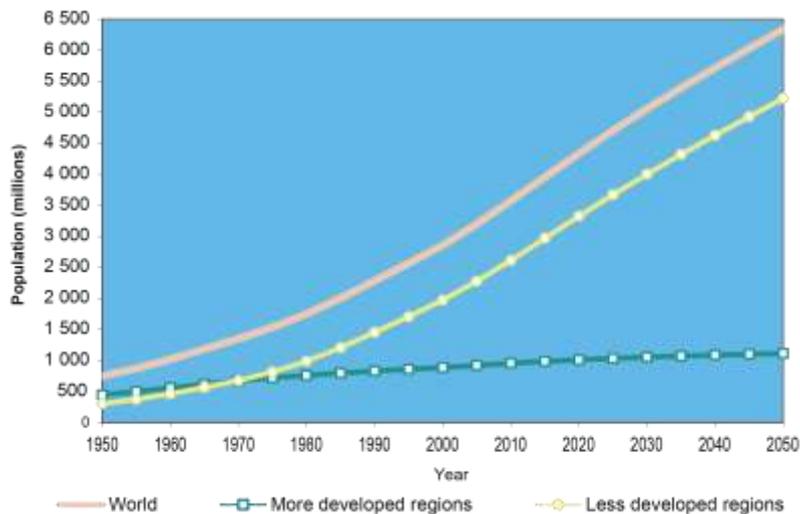


湿地と都市: 反対方向の軌跡

都市は成長している一方で...

約40億人の50%が現在都市部に住み、2050年までには66%となります。

世界の都市の人口, 1970-2016



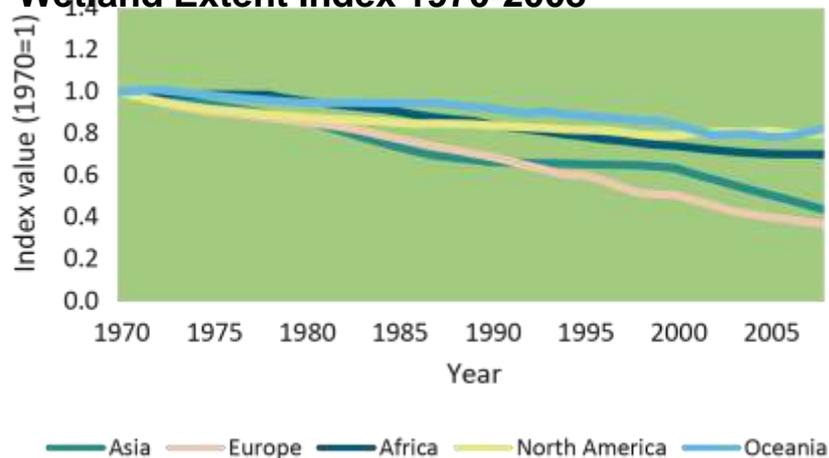
、1950-2050年の世界の都市人口についての推定と予測、発展国は増加し、そうでない地域の増加は少ない

湿地は消えつつあります。

1900年以降に、世界の湿地の64%以上が失われています。

湿地面積指数 1970-2008 1970年が1

Wetland Extent Index 1970-2008





World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



湿地と都市：挑戦

未来の都市を生き生きとさせるために湿地を維持し再生します！

•都市計画者のための持続可能性のバランスを取る行為とは：

○建物の土地や水や廃棄物の除去などの基本的なサービスも提供する

○長期的に湿地を含む天然資源の保護と回復をはかることです。

•都市人口は年間2.4%で増加しています。

○大都市(メガシティ)の数(1,000万人以上)は2030年までに31から41に増えます。

•巨大な機会：都会の湿地を使って都市をより生き生きとさせよう。



カーディフ湿地、ウェールズ、イギリス
Photo: Wikimedia Commons



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地は都市を以下のように住みやすいものにします：洪水を軽減します。

湿地は洪水の影響を軽減するために巨大なスポンジとして働きます。

○河川、池、湖沼、湿地帯は大雨を吸収し保持し、徐々に放出します。

塩性湿地とマングローブは嵐による大波を防ぐ緩衝帯として働きます。

○完全な1キロのマングローブ林は、暴風雨の氾濫を最大50cmまで減らすことができます。

例：ハリケーン・サンディー

○湿地帯は、2012年にこの嵐が密集した米国の東海岸を襲った際に、推定6億2500万ドルの被害を回避しました。



米国、テキサス、ヒューストン、San Jacinto湿地
Photo: goofreeephotos.com



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地は、以下のように都市を住みやすいものに します：水質を改善。

- 地球上の水のわず3%が淡水です、ほとんどが凍っています。水は希少な資源です！
- 深い地下水帯水層は、アジアの20億人、ヨーロッパの3億8,000万人の飲料水の半分を供給します。
- 地表にある湿地は、これらの帯水層に上からやってくる水をろ過し、水の補給を助けます。



Photo: Pixabay.com



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



**都市の湿地は、以下のように都市を住みやすいものに
します：廃棄物をフィルタリングして処理します。**

- 湿地の豊富な土壌と豊富な植物は、有害な毒素、農薬および産業廃棄物のフィルターとして働きます。
- 都市の湿地は、費用対効果を高く、下水の処理ができます。
- 例：Nakivubo Swamp、Kampala、ウガンダ

○都市の工業地帯からビクトリア湖まで伸びる550ヘクタールの都市湿地

○水をろ過し、汚染物質を減らします。

○年間2百万米ドルの水処理する価値があります。



ウクライナ、メリトポルの湿地水処理池

Photo: Wikimedia Commons



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地は、以下のように都市を住みやすいものに
します：

地域の空気の質を改善します。

- 湿地は高い水位と緑豊かな植物のおかげで湿った空気を放散します。
- 湿地は地域周辺の空気を自然に冷やします。
- 湿地は熱帯の都市と空気が非常に乾燥している気候の両方において助けとなります。



ロンドン湿地センターにおける再生された湿地景観

Photo: Wikimedia Commons



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地は、以下のように都市を住みやすいものにします：**リラックスのための緑の空間を提供します。**

- 都市の湿地は、ストレスを感じている都市住民をストレスから解放し、さまざまな植物や動物の生活と遭遇する機会を提供します。
- 自然との相互作用が私たちの健康を改善することが研究によって確認されています。
- 例：中国の黄山市；1千4百万人の都市で、市街地中心にある新河の7.5キロの堤防が自然の湿地に再生され、洪水の自然制御に加えて公園、植物園、住宅地をとまなう新しいグリーンベルトができました。



中国、河南省、陳橋

Photo: Pixabay.com



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地は、以下のように都市を住みやすいものに します：地域住民に雇用を提供します。

- 多くの種類の魚が湿地で産卵して繁殖し、人気のある漁場となっています。

○世界中で6億6,000万の人々が暮らしのために漁業と養殖に依存しています。

- 湿地は集め加工するための貴重な財を生産し、しばしば貧困層に利益をもたらします。

○織るためのヨシや草

○建物用の木材

○薬用植物および果物

- 湿地は、観光をもたらし、それは雇用の主要な源泉ともなります。



ネパール 湿地の漁師

Photo: Ramsar Convention, WWD Photo Contest



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地の管理ミス： 都市で災害を発生しやすくします。

- 湿地の少なくとも64%は1900年から消滅しています。
- 河川の運河化は洪水をより強力にします。
- ゴミ投棄は自然な緑の空間を減ぼします。
- マングローブを伐採しサンゴ礁を採掘することで、都市の海岸線が暴風にさらされる可能性が高まります。
- 泥炭地を燃や排水するとCO₂が放出されます。



米国、カリフォルニア州、ロサンゼルス川

Photo: Wikipedia



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地を正しく扱います： 湿地を政策と計画に統合します。

- 水のインフラの自然な一部としての湿地を計画に含めます。
- 湿地の悪化をくい止め、効率的な水使用を促進する政策を採用します。
- 例：ガーナ、アクラ
- 急速な成長は地元の湿地を脅かします。
- 市は以下のような統合措置で対応しました。

ビル建設規制の施行

グリーンベルトを作成してスプロール現象(都心部から郊外へ無秩序、無計画に開発が拡散していく現象のこと)を抑制。

地域住民のための教育プログラム。

ラムサール条約湿地として2つの地方湿地を指定。



ガーナ、大アクラにおけるサクモノラグーン条約湿地
Photo: Wikimedia Commons



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地を正しく扱います： 都市湿地の保存と再生を行います。

- 多くの都市は湿地がかつて広範囲に広がっていた沿岸地域や河川氾濫原に位置しています。
- 積極的に湿地を復元すること - とそのメリットは...
- 例：ロンドン湿地センター
 - 4つの古い水源地が40ヘクタールの湿地に再生され、
 - 今では180種の野鳥を含む幅広い野生動物の生息地となっています。
 - 湿地教育のためのビジターセンター。



ロンドン湿地センターにおけるアオサギ

Photo: Wikimedia Commons



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地を正しく扱います： 地元住民が計画立案に関わります。

•人々はしばしば地元の湿地に頼って生活しています；彼らの意見を理解し、彼らの合意を得ることが大切です

•例：カンボジアのStung Trengラムサールサイト

○漁業に依存する21の村、10,000人の14,600ヘクタールあります。

○いくつかの絶滅危惧種の生息地です。

○共同体は産卵期に保護区における漁を制限しており、以前より大きな魚が今戻ってきています



スタングトレングで条約湿地の看板を立てる
Photo: Ramsar Convention



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地を正しく扱います： 水の消費と有害物の流出を減らします。

- 人々が有毒物質を湿地に流出することを避ける。

- 都市が水の消費を減らすように行動する施策をとる。

- 例：キト、エクアドル

 - 都市のフットプリントプロジェクトによる2012-14年の水使用の詳細な施策。

 - 目標：2032年までに水のフットプリントを68%削減する

 - エコロジカルトイレの推進、水道設備の効率化



エクアドル、キト

Photo: Wikimedia Commons



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



都市の湿地を正しく扱います： 青少年と地域社会とかがわります。

- 地元の湿地浄化運動に参加したり編成します。

- 湿地保全と賢明に関するコミュニティベースの研修を開催します。

- 例：カリフォルニアのボルサ・チカ生態保護区、カリフォルニア。

 - ロサンゼルス近郊の356ヘクタールの保護された沿岸湿地

 - NPOの保護団体には月2回の公的な奉仕日があります

 - ボランティアは毎年10トンのごみとごみを取り除きます



2015年のガーナの条約湿地における清掃活動

Photo: Ramsar Convention WWD Photo Contest



**World
Wetlands Day**
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



ご清聴感謝!

湿地に関するラムサール条約

Rue Mauverney 28 | CH-1196 Gland | Switzerland

+41 22 999 01 70 | ramsar@ramsar.org



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



参考文献・参考情報 Sources

For urban population graph, projected percentage of people living in cities in 2050:

UN DESA Population Division: *World Urbanization Prospects: The 2014 Revision*, p. 25 and p. 1

<https://esa.un.org/unpd/wup/Publications/Files/WUP2014-Report.pdf>

For current (2016) urban population, annual growth rate and for percentage of people living in cities:

UN DESA Population Division: *The World's Cities in 2016 Data Booklet* (ST/ESA/SER.A/392), p.3, p.6 and p. ii

http://www.un.org/en/development/desa/population/publications/pdf/urbanization/the_worlds_cities_in_2016_data_booklet.pdf

For number of mega-cities today and in 2030:same source as above, p.2

For Wetland Extent Index:

Dixon, Lohb, Davidson, Beltramee, Freeman, Walpole: *Wetland Extent Index Trends*,

http://www.ipbes.net/sites/default/files/Metadata_UNEPWCMC_Wetland_Extent_Trend_Index.pdf

For mangrove reduction of storm surges:

Keqi Zhang et al., *The role of mangroves in attenuating storm surges*, (abstract)

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0272771412000674>

For damage avoided by wetlands during Hurricane Sandy:

Lloyd's Tercentenary Research Foundation: *Coastal Wetlands and Flood Damage Reduction – Using Risk Industry-based Models to Assess Natural Defenses in the Northeastern USA*, p.2

http://www.lloyds.com/-/media/files/lloyds/corporate%20responsibility/ltrf/coastal_wetlands_and_flood_damage_reduction.pdf?id=10.7291/V93X84KH

For global freshwater resources:

World Business Council for Sustainable Development: *Water Fact & Trends*, 2009, p. 3

<http://www.wbcsd.org/Pages/EDocument/EDocumentDetails.aspx?ID=137>

For dependence on groundwater in Asia:

Institute for Global Environmental Strategies White Paper, Chapter 7: *Groundwater and climate change: no longer the hidden resource*, p.160

http://pub.iges.or.jp/modules/envirolib/upload/1565/attach/09_chapter7.pdf

For dependence on groundwater in the European population:

<http://ec.europa.eu/environment/water/water-framework/groundwater/resource.htm>

http://epp.eurostat.ec.europa.eu/statistics_explained/index.php/Population_and_population_change_statistics

For value of services performed by the Nakivubo Swamp:

Ramsar Convention: Briefing Note 6 - Towards the wise use of urban and peri-urban wetlands, p.6 <http://www.ramsar.org/sites/default/files/bn6.pdf>

For information on Huangshan City - Xin'an river wetland restoration:

UN Habitat: *Urban Development, Biodiversity and Wetland Management – Expert Workshop*, p.38

<http://mirror.unhabitat.org/downloads/docs/ExpertWorkshopWetlands.pdf>

For number of people dependent on the fishing industry:

Food and Agriculture Organization of the U.N.: *Fish Trade and Human Nutrition*, p.2

<http://www.fao.org/cofi/29401-083ff934c3ccfd8576005d8d0c19b04d6.pdf>

For the historical loss of wetlands since 1900:

N. Davidson: *How much wetland has the world lost? Long-term and recent trends in global wetland area*, Marine and Freshwater Research, 2014, 65 ,pp. 934 and 940

<http://dx.doi.org/10.1071/MF14173>

For information on Accra's integrated wetland planning:

Conventional on Biodiversity et al., *Cities and Biodiversity Outlook- Action and Policy*, p. 41 - <https://www.cbd.int/doc/health/cbo-action-policy-en.pdf>

For information on Wildfowl & Wetlands Trust (WWT) London Wetland Centre:

<http://www.wwt.org.uk/wetland-centres/london/>

For details of the Stung Treng Ramsar Site community-led conservation efforts:

<https://www.worldfishcenter.org/content/integrating-fisheries-management-and-wetland-conservation-stung-treng-ramsar-site-cambodia>

For information on carbon and water footprint mapping project in Quito:

Climate and Development Knowledge Network (CDKN): Cities Footprint Project

https://cdkn.org/project/carbon-and-water-footprint-assessments-andean-cities-phase-2/?loclang=en_gb

For Quito water footprint targets:

<http://explorer.sustainia.me/cities/planning-for-smaller-co2-and-water-footprints>

For general information on Bolsa Chica site:

<http://bolsachica.org>

For estimate of rubbish cleared from Bolsa Chica site by volunteers:

<https://www.egbar.org/wetlands-cleanup>



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future

Urban wetlands making cities liveable



翻訳者 須川恒(琵琶湖ラムサール研究会)

元のPPTファイルは以下からダウンロードできます。

<http://www.worldwetlandsday.org/>

日本語版は、世界湿地の日in湖北(2018年2月4日)用に作成したものです。

全国各地で開催される、世界湿地の日2018の行事に役立つと思います。

仮訳ですので、訂正すべき内容に気づかれた方は訂正してお使いください。正しくした内容を連絡いただければ幸いです。

翻訳日 2018年1月8日

須川恒@京都市山科区

[cxld00117\(at\)nifty.ne.jp](mailto:cxld00117@nifty.ne.jp)

世界湿地の日2018in湖北 のURLは以下

<http://larus.c.ooco.jp/WWDinKohoku.htm>